

ふるさと移住交流の推進について

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、都市部から地方への人の流れが出てきている中で、交流人口・関係人口・移住定住人口の増加をめざした取り組みを一体的に進める「ふるさと移住交流事業」を令和3年度から重点的に実施します。

①体験型観光推進事業

暮らしや産業、歴史や自然などの素材を活用した体験事業を整備し、深くつながる交流人口の拡大を図る。

体験素材の掘り起こしとスタートアップ支援、ポータルサイト構築、プロモーション

②観音の里祈りとくらしの文化伝承事業

観音様をご縁とした観音ファンとのつながりを深め、観音文化の伝承につなげるため、東京観音堂の設置や情報発信、拝観の受入体制強化を図る。

③田舎暮らし体験事業

つながりが深まり、移住を検討されている方に、お試して、田舎暮らし体験を実施

④ふるさと納税返礼品拡充

返礼品率を3割に拡充し、魅力的な商品や体験メニューを提供することで、税込アップと長浜ファンの拡大を図る。

⑤東京-長浜リレーションズ

首都圏の企業等で活躍する長浜出身者等のメンバーと連携し、ネットワークの拡大とノウハウを活かした地域課題（リモートワーク、スタートアップ、副業促進）の解決を図る。

⑥ワーケーション推進事業・長浜ファンプロジェクト

長浜市を拠点にリモートワークを行う企業やフリーランスの誘致を図るため、サテライトオフィス整備の検討やビジネスマッチング、スタートアップ支援、長浜ならではの体験交流事業の提供をモデル的に実施

⑦移住支援体制の強化

移住コンシェルジュや空き家バンクの設置や移住支援の補助金等を創設

今後、予算化を検討する事業

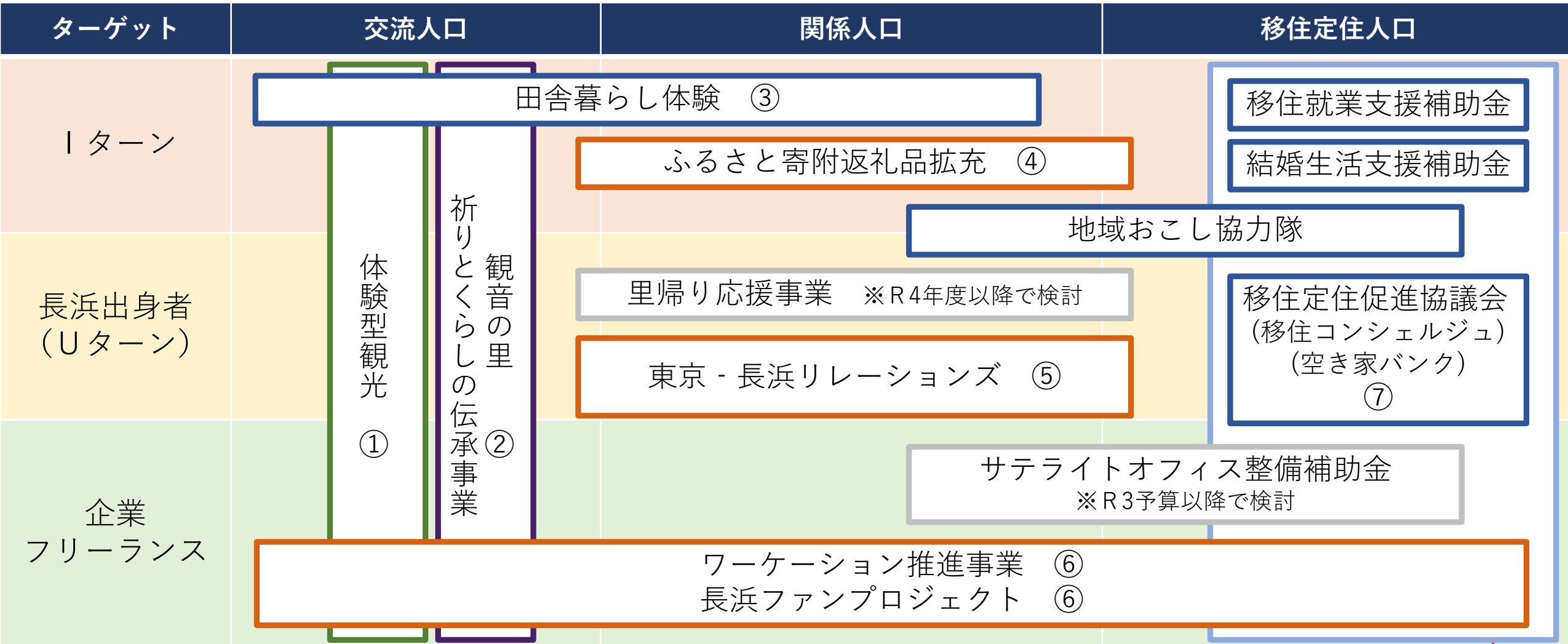
■里帰り応援事業

就職や進学などで、県外に転出している若者が、同窓会をきっかけに、友人との交流や、地域の自然歴史文化の体験を通して、継続的に長浜市とつながるネットワークを作ることで、Uターンや関係人口としての関わりの拡大を図る。

■サテライトオフィス整備補助金

長浜市内にサテライトオフィスの進出を検討している企業に、施設の改修整備費用等を補助

R 3 年度当初予算ふるさと移住交流事業



長浜市とのつながり・関わり

働くことや暮らすことを通して、つながりや関わりを深める機会を切れ目なく創出することで、「長浜ファン」を拡大し、長浜市への人の流れを誘導